

cT3b-T4 かつ第一グリソンパターン 5 を有する 超高リスク前立腺癌に対する RARP の治療成績

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

前立腺癌に対するロボット支援下前立腺全摘術(以下 RARP)は、低侵襲の根治治療として広く実施されています。当院は年間 200 例以上の RARP の治療実績を有する全国有数の病院ですが、この研究は、がんの進行が認められる患者さんに対し施行した RARP の治療成績を検討することを目的としています。

本研究は過去の診療記録を収集し、治療の有効性を検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2019 年 1 月から 2025 年 3 月までに当院で RARP を受けられた患者さんのうち、前立腺外への浸潤かつ第一グリソンパターン 5 を有する前立腺癌が認められた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など

使用開始予定日：2025 年 10 月 30 日

研究予定期間

2025 年 10 月 30 日～2026 年 5 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 泌尿器科 阿南公輝

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 阿南 公輝

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)